



## &lt;来週の資金需給予想とイベント予定&gt;

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主要要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
12/23 (月)	▲ 2,400	▲ 7,600	▲ 10,000	国庫短期証券発行償還 (3M)	国債補充供給 + 11,600 CP等買入 ▲ 300	国債買入 + 11,400	
12/24 (火)	▲ 3,000	▲ 2,000	▲ 5,000				日：日銀金融政策決定会合の議事要旨 (10月30・31日分) ：基調的なインフレ率を捕捉するための指標
12/25 (水)	▲ 3,000	+ 1,000	▲ 2,000	流動性供給	共通担保 ▲ 8,000		日：植田日銀総裁が経団連審議委員会で講演 ：景気先行CI指数 (10月)
12/26 (木)	▲ 2,000	▲ 2,000	▲ 4,000				米：新規失業保険申請件数 (21日終了週)
12/27 (金)	▲ 3,000	+ 4,000	+ 1,000				日：日銀金融政策決定会合における主な意見 (12月18・19日分) ：東京CPI (12月) ：有効求人倍率 (11月)

## &lt;インターバンク&gt;

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比1兆800億円増加の532兆1,800億円から始まった。その後、国債買入オペや国債発行、利払い等の要因により増減し、20日は533兆6,900億円 (速報) で越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.227%から始まった。その後もビッドサイドの調達意欲は底堅く、同金利は横ばいで推移した。

ターム物は1W~3W物0.227%~0.33%のレンジ、1M~3M物0.30%~0.50%のレンジで出が見られた。

また、日銀は18日・19日に開催した金融政策決定会合において、現状の金融政策維持を決定した。

来週の予定は、国内では、25日に植田日銀総裁が経団連審議委員会で講演、27日に日銀金融政策決定会合における主な意見 (12月18・19日分) の公表。海外では26日に米新規失業保険申請件数 (21日終了週) の公表などがある。

## [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.220 ~ 0.228
1M	0.30 ~ 0.45
2M	0.35 ~ 0.55
3M	0.40 ~ 0.60
6M	0.50 ~ 0.65

## &lt;レボ&gt;

足許GC取引は週を通して+0.24%~+0.25%の狭いレンジで推移した。政策決定会合2日目となる19日も水準に変化は見られなかった。

SC取引は2年460~467回債、5年149~174回債、10年350~376回債、20年180~190回債、30年65~84回債、40年13~17回債などに引合いが多く見られた。

## [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.12 ~ 0.20
CP 3M	0.30 ~ 0.50

## &lt;CP&gt;

今週の入札発行総額は約1兆7,500億円で、週間償還額の2兆1,300億円を下回った。発行残高は先週末時点の25兆9,850億円から、12月19日時点で25兆7,625億円に減少した。

発行市場は、機械、電気機器、鉄鋼、不動産業、建設業などで大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは決定会合以前の入札案件では1M物から3M物で、0.30%台後半から0.50%台後半での出会い。決定会合後の入札案件では、政策金利据え置きを受け、1M物から3M物で、0.20%台後半から0.40%台前半での出会いとなり、発行金利が低下した。

来週の償還額は、4兆4,400億円となっている。発行市場は、月末の資金需要でのCPの利用が想定され、相応の発行が見込まれる。発行レートは、1M物から3M物で0.20%台後半から、レートの上昇余地を探る展開が予想される。

## &lt;TDB&gt;

18日の1Y (1276回債) の入札は、最高落札利回り0.4857% (前回債0.4449%)、平均落札利回り0.4796% (前回債0.4379%) となった。

20日の3M (1277回債) の入札は、最高落札利回り0.1453% (前回債0.1546%)、平均落札利回り0.1255% (前回債0.1453%) となった。

来週の入札は予定されていない。